

旧様式及び新様式での届出にあたっての注意事項

チェックボックスが新設される省令様式については、チェックボックスにチェックがなされていることが形式上の要件となりますので、旧様式で届出する場合は、①旧様式に直接チェックボックスの記載を追記する、又は②チェックボックスの記載がなされた別紙（次項参照）を添付する必要があります。

令和3年4月1日以降

旧様式	押印又は署名	不要
	<協定届・決議届> チェックボックスの追記（別紙添付可） 及び チェックボックスへのチェック	必要
新様式	押印又は署名	不要
	<協定届・決議届> チェックボックスへのチェック	必要

<留意事項>

- ※ 改正前の労働基準法施行規則に基づく様式（以下「旧様式」という）を使用する場合には、旧様式に協定当事者に関するチェックボックスの記載を直接追記するか、チェックボックスの記載を転記した本紙を添付して届け出ることができます。
- ※ 本紙を添付して届け出の場合には、届け出る省令様式に対応するチェックボックスにチェックした上で、それ以外のチェックボックスの記載部分に斜線を引くなどしてください。

○様式第1号

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者代表が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 （チェックボックスに要チェック）

上記労働者代表が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。 （チェックボックスに要チェック）

○様式第3号の2、第3号の3、第4号、第5号、第9号、第9号の2、第9号の3、第9号の4、第9号の5、第12号、第13号

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 （チェックボックスに要チェック）

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。

（チェックボックスに要チェック）

○様式第9号の6、第13号の2、第14号の2

上記委員会の委員の半数について任期を定めて指名した労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記委員会の委員の半数について任期を定めて指名した労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 （チェックボックスに要チェック）

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。

（チェックボックスに要チェック）

○様式第9号の7

上記委員会の委員の半数の推薦者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記委員会の委員の半数の推薦者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 （チェックボックスに要チェック）

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。

（チェックボックスに要チェック）

事業場名